

●労働者協同組合(ワーカーズコープ)=協同労働の協同組合●

- 2020年…労働者協同組合法成立＋コロナ禍
- 1979年…全国連合会発足(中高龄雇用福祉事業団全国協議会)
- 1986年…労働者協同組合として自己規定
- 前史を学び・知り、追体験する…何者か、何を指すか
 - ・失業、働く権利・・・「公共」とは
 - ・よい仕事、働き続けるために、何のために働くか・・・「労働」とは何か
 - ・私の仕事、あなたの仕事、みんなの仕事、利他・・・「協同」とは何か
 - ・全ての根底に、「社会とは」「人間とは」「生きるとは」
- 協同組合として
 - ・組合員が協同し、共通のニーズを満たす組織(システム)・文化
 - ・お金を出し合い(出資)、知恵と意見を出し合い(経営・話し合い・経営)、手を出し汗を流す(働く)
- 職場づくりとよい仕事
 - ・働く場があること　・職場が健康であること　・協同の成果は内外へ　・仕事からつながりを感じる
- 仕事づくりと地域づくり
 - ・仕事を深めた先にある、新しい仕事と地域
 - ・お金のための労働以外の働き…社会連帯活動
- 協同組合は「共益組織」、ワーカーズコープは＋公益性が高い＝公共性が高い

●これから始まる、新しい協同労働の運動●

- それをつくるのは、一人ひとりの組合員、一つひとつの現場・事業所からはじまり、市民・地域と無数につながる中で
- よい仕事と協同労働を体験し実感し発信する…波及する
- 法制化は、新しいワーカーズ・協同労働の組織が立ち上がり広がる時代を拓く
- 法制化は、新しい価値を生み、新しい地域や社会をつくろうとする機運を高める
- その主人公は市民・住民…特に若い世代・次の世代に種をまき引き継ぐ
 - ・全く新しい分野や産業の創造
 - ・かけ合わせの仕事…農業などの1次産業×教育・福祉・健康・文化など
 - ・プラットフォーム・ネットワーク的な広がり…独占からシェアへ
 - ・「今だけ・金だけ・自分だけ」の逆を行く…「未来を見据え、お金に頼り切らず、みんなで」
- 最後に
 - ・一人ひとりの役割は、人間らしく・自分らしくありたいと思い、探求する
 - ・それは、他社・仲間の人間らしさやその人らしさを尊重し見出し、その助けとなること
 - ・こうした「協同の関係」を職場から地域へと、よい仕事を深めながら広げること